

# Pre 医療専攻だより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会 Vol.1

5月1日(火)1学年の医療講演会が行われ、魚沼市立小出病院長 布施克也先生をお迎えし、医療・福祉の仕事についてご講演いただきました。



《布施先生のご講演より》

**Will** (何がしたいのか)、**Can** (何ができるのか)、**Must** (何が求められているのか)という3つのポイントから将来を考えてほしい。医療や福祉の専門職には、幅広い分野がある。医療とは「ライフ」を支える仕事であり、**Life** (生命、生活)に興味のある人の仕事。**Life** の始まりから終わりまで、治療・保健・福祉などの形でチームとして関わるのが、職業としての医療人。「人を助ける仕事をしたい。人間が好き。」といったことが、医療従事者を目指す動機であり、向いている資質。

このようなお話を伺い、「医療系には進まない」と思っていた生徒も、「自分も関係なくはない」と、医療を身近に感じ、興味を持ったようでした。1学年は今後、医療専攻希望者への講演が2回あります。



《生徒の感想》

○今日の講演会を聞いて、私が一番印象に残ったのは、Will、Can、Must の関係です。話を聞いてその通りに頑張りたいと思いました。夢を描き、今自分ができていることを、やらなくてはいけないことをしっかりしないとダメだと改めて気付かされました。私は将来看護師、保健師の資格を取得したいと考えています。看護師の次に保健師の他に

助産師の仕事を選択できるのは知らなかったもので、またそれも視野に入れて考えていきたいなと思いました。魚沼は、医療をする人の手がたらないとよく聞くので、将来夢を叶えるために、今は勉学を頑張っていきたいと思います。

○私は医療専攻をとるか迷っていて、人と関わる仕事をしたいと、とても興味がありました。今回の講演を聴いて、医療の場にはもちろん人と関わる場面はとて多いことは知っていたけど、改め大変だと思いました。しかし私は、医療の場であってもなくても人と関わるのが一番目指したい職業の選択です。人の命を助けること、人の生活を守り支えること、それは人と関わることです。医療専攻を選択しなくても“人と関わること”という目標は同じだと思うし、これからも目指していきたいです。

○「ライフ」を支えることについて、今まで知っていたこともあったけれど、そのほかに福祉や保健も「ライフ」を支えていて、まだ知らなかった多くのことをすることができてとてもよかったです。そして、福祉や保健にも専門の職業がたくさんあり、その中に自分の知らない職業があり、その職業について学ぶことができたので、日常の中で、もし職業を見つけたら講演のことを思い出していきたいと思いました。医療について講演をしてくださいましたが、他にも **Will Can Must** の話の中で、特に「自分のできることを広げていく」ということがとても印象に残っていて、そのことを大事にして様々なことに挑戦していき、本当にできることを広げていけるように頑張っていきたいと思いました。

○医療や福祉の専門職は私たちがよくわかっていないものもたくさんあることがわかりました。福祉などは人の命を守るために決して欠かすことのできないとても重要な仕事で、その **Life** を支えたりしていく中で、治療・保健・福祉というのはとても大切なことだと改めて思いました。そして、その医療の道に進むためには、弱い人の立場になって考えることができ、感性と理性を持つことが必要となってくると思いました。私は



今のところ医療の道に進む予定はありませんが、どの仕事でも弱い人の立場、相手の立場になって物事を考えることはとても大切になってくると思うので、日頃から他人の気持ちを考えて行動できるような人間になりたいです。